

来週の「売り物」記事はこれ



2011年12月22日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

花園でぶつかり合う青春 — 第91回全国高校ラグビー大会 27日開幕

第91回全国高校ラグビーフットボール大会（毎日新聞社主催）は27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開幕します。決勝は来年1月7日。全国の予選を勝ち抜いた51校が出場し、今回も熱い戦いを繰り広げます。前回優勝を分け合った東福岡（福岡）と桐蔭学園（神奈川）や国学院久我山（東京）、流通経大柏（千葉）などの強豪校が注目されます。また、東日本大震災の影響で約2カ月間も屋外練習ができなかったハンディを乗り越えた磐城（福島）などにも声援が集まりそうです。大会の特集は26日に掲載。熱戦の様子は、運動面でお楽しみください。



運動面「インサイド」

— 2011年のスポーツ界を総括 — 27日から5回



2011年は、日本のスポーツ界に大きな出来事が相次いだ年でした。東日本大震災による諸方面への影響、女子サッカー・なでしこジャパンの世界制覇、大相撲の八百長問題、プロ野球・横浜の身売り問題など。こうした事象に対して、スポーツ人はどう取り組んだのでしょうか。総括をする中から新年の課題を探ります。運動面の大型連載「インサイド」で27日から5回を予定しています。

日本一の栄冠争うタスキのリレー — 元日にニューイヤー駅伝

新年最初のビッグイベントとして知られる第56回全日本実業団駅伝競走大会（毎日新聞社共催）は2012年元旦、前橋市の群馬県庁をスタート・ゴールとする7区間、100キロのコースで争われます。このところ、上位チームがゴール直前まで激しい競り合いを繰り広げる接戦が続いています。今回も、連覇を狙うトヨタ自動車、前回1秒差で敗れた雪辱をもくろむ富士通、2年ぶりの王座奪回が期待される日清食品グループ、古豪・旭化成などが優勝候補に挙げられます。また今夏の世界陸上男子一万メートルで金メダルのイブラヒム・ジェイラン（ホンダ）、ロンドン五輪マラソン代表を狙う堀端宏行（旭化成）ら有力ランナーの走りも楽しみです。27日から運動面で有力チームを紹介。30日には、特集面で選手名鑑、コース図などを掲載します。



男女雇用機会均等法企画 上・下 くらしナビA面 26～27日



男女雇用機会均等法が施行され、今年で25年となります。この四半世紀、働く女性は増えましたが、仕事と家庭の両立に苦しむ女性は今も少なくありません。残業が避けられず、家事や育児に支障が出る人も多いためです。女性の働き方と職場の現実を探りました。

恒例 ベテラン政治記者座談会

2012年「日本の政治」はどこに向かう

夕刊特集ワイド面 27日(火)

後世の歴史家が「2011年」を振り返ったとき、恐らく日本社会の転換点になったと見なすことでしょう。そう、未曾有(みぞう)の巨大地震に襲われただけでなく、それに伴う福島第1原発の事故は終末論的な「恐怖」を列島にまき散らし続けています。こうした事態に、政治の力はあまりに無力でした。既成政党への不信感は沸点に達し、大阪府市長のダブル選では、ローカル政党の橋下徹陣営の圧勝でした。そして、2012年。消費税引き上げ論議が本格化するなか、新党構想や、早くも解散総選挙が取り沙汰されています。果たして、日本の政治はどう動くのでしょうか。透徹した目で永田町取材している、岩見隆夫・客員編集委員、松田喬和・専門編集委員、小菅洋人・編集編成局次長——3人のベテラン政治記者がズバリ読み解きます。



「知りたいが分かる」がモットーの夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

3900万部のベストセラー作家、佐伯泰英さんが登場

1月5日から3週・12回



新春最初の「時代を駆ける」には、ベストセラー作家、佐伯泰英(さえき・やすひで)さん(69)＝写真＝が登場します。

佐伯さんは書き下ろし時代小説だけで、1999年以来、約170冊を刊行。総部数3900万部を数える国民的人気作家です。テレビドラマにもなった「居眠り磐音(いわね) 江戸双紙」をはじめ、「密命」「古着屋総兵衛」「吉原裏同心」「鎌倉河岸捕物控」など数々のシリーズを手がけ、すべてがベストセラーのランク上位に入り、読者の心をつかんでいます。

しかし、その半生は波乱に満ちたものでした。高校受験の失敗など少年時代の挫折、映画製作を志しての上京、カメラマンとしてのスペイン長期滞在などを経て、海外を舞台にした冒険小説を多く発表しましたが、あまり売れずに窮地に立たされました。ところが、57歳にして時代小説に転向、華々しい成功を収めました。

切実な経験の数々とともに、佐伯文学の原点や時代小説にかける思いを語ってまいります。

— お知らせ —

年内の「来週の売り物記事」は、今号の発行で終了致します。来年は1月6日(金)から発行予定です。ご了承ください。良い年を迎えられますことをお祈りします。